

2018年
(平成30年)
7月23日

世界一の自動販売機工場を見に行こう！！

富士電機三重工場(富士町)



【参加者から(1)】

初めて入る工場で少し緊張気味でしたが、大きなロボットに驚いたり、感心したり釘付けになっていました。

普段よくみかける自動販売機が実は様々な工夫がされ、多くの人やロボットの力を借りて作られていることがわかりました。使用する人達のことだけでなく、設置する側、製造する作業員など、いろいろな立場の人の気持ちを考え工夫して工場が作られ、製造されていることがわかりました。

とても貴重な経験ができました。

【参加者から(2)】

1～3年生の低学年チームは工場について堀田さんからの全体説明を聞いた後、自動販売機の仕組みを見たり触ったり説明を聞きました。歴代の自動販売機も見ることができ、牛乳瓶やカップラーメン用の自動販売機には保護者も「昔、買ってみたかったんだよ！」と感動したりしていました。

いよいよ二列に並んで工場現場の見学をさせて頂きました。ガラス窓を隔てず見学することができ、大きな機械やロボットが動く様子やその大きな工場音に、子どもたちは興奮していました。特に男の子たちは身を乗り出して「凄い！」「楽しい！」と、しっかりと見ていました。钣金工程はわかりやすく折り紙に例えた説明をイヤホンで聞きながら、鉄板を伸ばして切って折ってくっつけていく作業が見れました。途中で火花が散る場面などがあり、迫力もありました。

作業をしている方は次々に細かな作業をしていて、どんどんと自動販売機が完成していく過程を見て、とてもかっこよかったです。

当たり前のように身近にある「自動販売機」について詳しく知れ、またそこで働く方々の姿を実際に見ることでいろいろなことを知れました。

電気を使う電化製品を作る工場ですが、逆に工場で電気を作る工夫や、自動販売機本体が使う電気をこの14年のうちに約83%も減らす商品開発をされていることも知れました。

時代の流れとともに、より進化している自動販売機の実態から、それらの省エネ対策を知ることで、工夫することの大切さや凄さを感じられました。

